

授業科目名	特修 I (臨床心理学演習)	担当教員名	小島 知子
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	大学が独自に設定する科目-保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	選択 / 1単位 (30時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	1年 後期 (3-4期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 乳児院、児童養護施設、児童家庭支援センターにおける児童福祉施設勤務 (児童指導員、臨床心理士)、および幼稚園キンターカウンセラー、小中学校スクールカウンセラー、教育センターなどの実務経験を生かし授業を行う。
授業の概要及び全体目標	本講義では、保育にいかせるカウンセリングスキルや心理療法を学ぶことを目的とする。さらに心理学の学びを通して、子どもの心を理解し、子どもと保護者に寄り添って支援できる保育者を目指す。臨床心理士・公認心理師としての臨床経験をもとに、臨床心理学の基本事項について概説し、現場と結びつけて説明する。		
到達目標	①カウンセリングスキルや心理療法の基礎知識を理解し説明できる。 ②子どもを取り巻く社会状況や地域課題に向き合い、背景 (園児の発達や家族の状況) を含め心理的側面を含めて考え続ける姿勢を習得する。 ③他者の意見を聴き取って、自分と異なる価値観を理解・尊重した上で、自分の考えを伝えることができる。 ④自己理解、他者理解、人間社会の理解を深め、自分の言葉で表現できるようになる。		
テキスト	使用しない		
参考書・参考資料等	臨床心理学 編著 井上嘉考 (中央法規) 2023		
成績評価の方法	①平常点 (受講態度) 25% ②課題 (授業後のレポート・授業内での発表、グループワークへの取り組み) 25% ③理解度・到達度チェック (筆記形式) 50%		
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	・事前学習については授業時に指示する。 ・事後学習については毎回、コメントシートを提出する。 ・オフィスアワーは授業前後の時間帯で受け付ける。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	授業の進め方、ガイダンス・臨床心理学とは何か	①	
第2回	臨床心理学の歴史・現代の心理学	①	
第3回	自己理解と他者理解の実践ワーク (文章完成法 20の私)	④	
第4回	臨床心理学による心理アセスメント (エゴグラム・バウムテスト)	③,④	
第5回	フロイトの防衛機制 (精神分析)	①	
第6回	乳幼児期におこる心理的問題 (吃音、場面緘黙、チック)	①,②	
第7回	愛着障害と愛着障害の治療	①,②	
第8回	発達障害を持つ親への支援 (ペアレントトレーニング) 理解度・到達度チェック (筆記形式)	①,②	
第9回	聞く技術 (バイステックの7原則・3つのきく ask, hear, listen)	③,④	
第10回	アサーショントレーニング (上手に伝える方法)	③,④	
第11回	アンガーマネジメント (怒りのコントロール)	③,④	
第12回	ストレスとは何か (基礎編)	①	
第13回	行動療法 (動作法・漸新世筋弛緩法・自律訓練法・系統的脱感作法・不安階層表)	①,③	
第14回	ストレスマネジメント (実践・呼吸法)	①,③,④	
第15回	ストレスマネジメント (実践・マインドフルネス) 理解度・到達度チェック (筆記形式)	①,③,④	